

Oracle Workflow Client

インストレーション・ノート

リリース 2.6.2

2002 年 7 月

部品番号 : J06291-01

ORACLE[®]

Oracle Workflow Client インストール・ノート, リリース 2.6.2

部品番号: J06291-01

原本名: Oracle Workflow Client Installation Notes (Release 2.6.2)

原本部品番号: A96644-01

Copyright © 1996, 2001, Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記載された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

* オラクル社とは、Oracle Corporation（米国オラクル）または日本オラクル株式会社（日本オラクル）を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation（米国オラクル）およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	v
目的	vi
対象読者	vi
1 Oracle Workflow Client	
Oracle Workflow Client	1-2
Oracle Workflow Client のハードウェアおよびソフトウェア要件	1-2
Oracle Workflow Client のインストール	1-4

はじめに

目的

このマニュアルでは、クライアント・マシン上に常駐する Oracle Workflow コンポーネントのインストールおよびアップグレードについて説明します。

注意： Oracle Workflow に、Oracle E-Business Suite で新規ワークフローを定義するライセンスがある場合は、Oracle Workflow のクライアント側コンポーネントを再インストールする必要はありません。これらは、Oracle E-Business Suite 組込みのクライアント側コンポーネントと同じものです。

対象読者

このマニュアルは、Oracle Workflow Client コンポーネントのインストールまたはアップグレードを担当する方を対象にしています。このインストールを実行する際、次の方からの支援が必要です。

- オペレーティング・システム管理者
- Oracle システム管理者
- Oracle データベース管理者

Oracle Workflow Client

Oracle Workflow Client

Oracle Workflow には、Oracle Universal Installer を使用してインストールする複数の Client コンポーネントがあります。

- Microsoft Windows NT、Windows 98、Windows 2000、Windows XP 用の Oracle Workflow Builder
- Windows NT 用の MAPI 準拠通知メーラー
- Oracle Workflow Common Files
- Oracle Workflow HTML ヘルプ

Oracle Workflow Client のハードウェアおよびソフトウェア要件

Oracle Workflow Client コンポーネントでは、次のハードウェアおよびソフトウェア構成が必要です。

Oracle Workflow Builder

Oracle Workflow Builder は、Microsoft Windows NT、Windows 98、Windows 2000、または Windows XP が稼動している PC 上で、ワークフロー定義を作成および編集できる GUI ツールです。PC 上に Oracle Net をインストールしている場合は、ワークフロー定義をフラット・ファイルまたは Workflow データベース・サーバーに保存できます。Oracle Workflow Builder では、次のハードウェアおよびソフトウェア構成が必要です。

- Oracle Net Client リリース 9.2.0.1 以上 (Oracle Workflow Client インストールに含まれています)
- Required Support Files リリース 9.2.0.1 以上 (Oracle Workflow Client インストールに含まれています)
- IBM、Compaq または次の条件を満たす 100% 互換マシン
 - 486 以上のプロセッサ
 - 動作クロック速度 66MHz 以上 (90MHz 以上を推奨)
 - ネットワーク・カード
 - SVGA カラー・モニター
 - 論理ドライブとして使用するための、ISO 9660 フォーマットの CD-ROM ドライブ
 - Microsoft Windows 98、Windows 2000、Windows XP、または Windows NT 4.0 以上
 - Oracle Workflow Builder、Oracle Net および Required Support Files をインストールするための 65MB 以上の空きディスク領域

- 最低 32MB のメモリー (64MB を推奨)

注意: Oracle TCP/IP Protocol Adapter で必要かつ唯一サポートされるのは、Microsoft 社の TCP/IP ドライバのみです。

注意: Oracle Workflow Builder は現在、集中してアクセスされるファイル・サーバーにインストールすることはできず、またネットワーク上で他のクライアント PC と共有することもできません。

通知メーラー

通知コンポーネントの 1 つに、通知メーラーと呼ばれるプログラムがあります。このプログラムによって、電子メール経由でユーザーに通知が送られ、応答が解析されます。通知メーラーは、UNIX Sendmail または MAPI 準拠のメール・アプリケーションと直接統合できます。

- UNIX Sendmail 版の通知メーラーは、Oracle Workflow Server のインストール・プロセス中に自動的にインストールされます。UNIX Sendmail は、Oracle Workflow と同じサーバー上にインストールされている必要があります。
- MAPI 準拠版の通知メーラーは、Oracle9i クライアント・インストール・タイプで Oracle Universal Installer を使用して Windows NT PC にインストールできます。メール・サーバーとして動作する PC 上には、Windows NT の MAPI 準拠メール・アプリケーションがインストールされている必要があります。

注意: 2000 年 6 月 7 日にリリースされた Microsoft Outlook E-mail Security Update は、Oracle Workflow MAPI メーラーで使用される MAPI Common Messaging Calls (CMC) インタフェースをサポートしていません (「OL2000: Developer Information About the Outlook E-mail Security Update」

(<http://support.microsoft.com/support/kb/articles/Q262/7/01.ASP>) を参照)。その結果、この Microsoft Outlook E-mail Security Update 以降の更新が適用されている場合、Oracle Workflow MAPI メーラーの動作は Microsoft Windows プラットフォームでは保証されません。Oracle Workflow MAPI メーラーの動作は、Windows XP では保証されません。

Windows NT/2000 で Workflow を使用する場合は、UNIX 版の Oracle Workflow 通知メーラーを UNIX にインストールして、Windows NT/2000 上で実行する Workflow Server のデータベースに接続する方法が保証されています。

Oracle Workflow Client のインストール

次の手順を実行して、ご使用の PC に Oracle Workflow Client のコンポーネントをインストールします。

注意： MAPI 準拠の通知メーラーには Windows NT PC が必要です。

手順 1: Oracle Universal Installer を使用した Oracle Workflow Client コンポーネントのインストール

Oracle Universal Installer を実行して、ご使用の PC に Oracle Workflow Client のコンポーネントをインストールします。Oracle Universal Installer の詳細な実行方法は、各プラットフォーム固有のインストール・ガイドを参照してください。Oracle Workflow Client コンポーネントは、Windows 用の Oracle Server CD または各プラットフォーム用の CD パックに含まれている Oracle Client CD からインストールできます。

Oracle Universal Installer で、「Oracle9i Client」を選択します。次に、「カスタム」インストール・タイプを選択し、インストールするコンポーネントとして「Oracle Database Utilities」を選択します。Oracle Workflow Client コンポーネントは、Oracle Database Utilities の中に含まれています。Oracle Workflow Client インストールには、Oracle Workflow Builder、Oracle Workflow Mailer、Oracle Workflow Common Files、HTML ヘルプが含まれています。

注意： Oracle Database Utilities に含まれるいくつかのコンポーネントはデフォルトでインストールされますが、Oracle Workflow Client コンポーネントは自動的にインストールされません。ユーティリティ・コンポーネントの一部がすでにインストールされている場合でも、Oracle Workflow Client コンポーネントをインストールするには、Oracle Database Utilities をインストールする必要があります。すべてのコンポーネントおよびそれらのインストール・ステータスのリストを表示するには、「必須の依存コンポーネントを含むすべてのコンポーネントを表示。」チェック・ボックスを選択します。「Oracle Database Utilities」から「オプション」を選択して Oracle Workflow Client のステータスを表示します。Oracle Workflow Client をインストールするには、「Oracle Database Utilities」チェック・ボックスを選択します。

インストールに必要な時間は、ご使用のシステムの数および容量によって異なりますが、10 分程度です。

Windows 98 PC に Oracle Workflow Builder をインストールした場合は、インストール完了後に Oracle Universal Installer を終了し、PC を再起動した後に Oracle Workflow Builder を起動してください。

注意： Windows 98 上で Oracle Workflow Builder を初めて起動する場合は、起動する前に必ず PC を再起動して、必要な Workflow Builder ファイルがメモリーにロードされることを確認してください。

注意： インストール中に、「Error encountered when registering <filename>, please run regsvr32.exe manually to register this file after the installation completes」というエラー・メッセージが表示される場合があります。たとえば、このエラーは wfnvg.ocx ファイルの登録中に発生することがあります。

このエラーが発生した場合は、エラー・メッセージを閉じて、インストールを続行してください。インストールの完了後に、DOS プロンプトから次のコマンドを実行して、指定されたファイルを手動で登録します。

```
regsvr32 <path>%<filename>
```

<path> はファイルへのパス、<filename> は登録するファイルの名前に置き換えてください。通常、wfnvg.ocx ファイルは <ORACLE_HOME>%bin ディレクトリにあります。

手順 2: Oracle Workflow HTML ヘルプの設定

Oracle Workflow Builder をインストールすると、Oracle Universal Installer によって、HTML ヘルプを含む zip ファイルが Oracle ホーム内の Workflow ディレクトリにコピーされます。この zip ファイルは、<ORACLE_HOME>%wf%wfdoc262.zip です。HTML ヘルプを表示するには、zip ファイルの doc ディレクトリ・ツリーをファイル・システムに解凍する必要があります。

1. 解凍ユーティリティを使用して、zip ファイルから Workflow ディレクトリに doc ディレクトリ・ツリーを解凍します。この zip ファイルを解凍するには、最低 5MB の空きディスク領域が必要です。

作成される doc ディレクトリ・ツリーには、Oracle Workflow ドキュメント領域 (<ORACLE_HOME>%wf%doc) および次のサブディレクトリが含まれます。

- <ORACLE_HOME>%wf%doc%<lang>%wf: 『Oracle Workflow ガイド』。
- <ORACLE_HOME>%wf%doc%<lang>%wf: 『Oracle Workflow カスタム・ヘルプ』。カスタマイズした Workflow ヘルプをこのディレクトリに追加できます。

注意： doc ディレクトリ・ツリーは、PC のファイル・システム上の選択したディレクトリにインストールすることもできます。HTML ヘルプ用のディレクトリを作成します。次に、HTML ヘルプの zip ファイル (wfdoc262.zip) を Oracle ホーム内の Workflow サブディレクトリから新規に作成したディレクトリに移動します。解凍ユーティリティを使用して、zip ファイルの doc ディレクトリ・ツリーをそのディレクトリに解凍します。

2. doc ディレクトリ・ツリーを解凍したら、zip ファイルは削除してもかまいません。
3. Web ブラウザを使用して、HTML ヘルプを参照できるようになりました。

『Oracle Workflow ガイド』の目次ページへのパスは次のようになります。

```
<ORACLE_HOME>%wf%doc%<lang>%wf%toc.htm
```

『Oracle Workflow カスタム・ヘルプ』の目次ページへのパスは次のようになります。

```
<ORACLE_HOME>%wf%doc%<lang>%wfcust%wfcust.htm
```

4. カスタム・ヘルプを追加する場合は、wfcust ディレクトリのプレースホルダ・ファイル (wfcust.htm) を独自のヘルプ・ファイルに置き換えることができます。カスタム・ヘルプのメイン・エントリ・ポイントとなる HTML ファイルには、wfcust.htm という名前を付け、アンカーが指定されたコンテンツを含める必要があります。カスタム・ヘルプは、『Oracle Workflow ガイド』の目次ページにある「カスタム・ヘルプ」リンクからアクセスできます。

手順 3: Oracle Workflow Builder のフォントの変更 (オプション)

日本語などの英語以外の言語で Oracle Workflow Builder をインストールしている場合は、Oracle Workflow Builder のウィンドウで使用されるフォントを言語に適したフォントに変更することができます。変更は、プログラム内のすべてのウィンドウに適用されます。

1. 「表示」メニューから「フォント」を選択し、「フォント」プロパティ画面を表示します。
2. アイコンのラベルとナビゲータ・ツリーに使用するフォントを選択します。「サンプル」領域に、選択したフォントの表示イメージが表示されます。たとえば、Oracle Workflow Builder を日本語で使用する場合は、フォントとして「MS P ゴシック」を選択します。
3. フォント・スタイルとして「標準」、「太字」、「斜体」または「太字斜体」を選択します。フォントの中には、フォント・スタイルが制限されるものもあります。
4. 必要なフォント・サイズを選択します。フォントには、フォント・サイズが制限されるものもあります。
5. 「下線」または「取り消し線」チェック・ボックスをオンにして適用します。

6. 操作の完了後に、「OK」を選択します。
7. Oracle Workflow Builder を終了して再起動すると、新しいフォント設定が有効になります。

